



令和6年度 施政方針

施政方針全文は市のホームページに掲載しています。

ホームページ

「未来へ続く希望に満ちあふれるまち」

市長就任以来、「子どもたちに帰ってこいよと言えるまちづくり」を究極の目標に掲げ、4つの柱を軸に精力的に市政運営に取り組んでまいりました。

今年、4年間という任期の総仕上げの年であり、丹波市誕生20周年の記念すべき年でもあります。これまで取り組んできた4つの柱をさらに深化させ、「帰ってきた」「住みたい」「住み続けたい」と思っていただけの丹波市をめざし、今日より明日、明日より明後日、幸せを感じ心豊かになるような「未来へ続く希望に満ちあふれるまちづくり」をめざしてまいります。

1 「市民が暮らしやすい丹波市」では、

大切なふるさととの環境を守り、丹波市らしい田園風景や自然環境を子や孫に引き継いでいきます。そのためには地球規模の課題である気候変動への対応や脱炭素社会の実現を「わが事」としてとらえることが必要です。2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロをめざすゼロカーボンシティの実現に向け、行政と市民、事業者が一体となって脱炭素化に向けて取り組んでまいります。

2 「子育て世代・現役世代が魅力的に感じる丹波市」では、

デジタルで快適・便利なまちの推進を図ります。

少子高齢化の進行や労働力人口の減少などに伴い、地域課題や生活ニーズがますます多様化する中、持続可能で活力あるまちづくりを実現するうえでデジタル技術は欠かせません。市民サービス、まちづくり、行政運営の3つの視点で、デジタルファーストを進めてまいります。

3 「帰ってこいよ・帰ってきたいと声かけ合える丹波市」では、

移住・定住の促進と人とのつながりを進め、「帰ってこいよ・帰ってきたいと声かけ合える丹波市」をめざします。少子高齢化の進行により、今後も長期にわたって人口が減り続けることが想定される中、将来にわたって活力あるまちを維持するため、丹波市としての魅力を高め、「丹波市だから住み続ける」「丹波市だから移住する」「丹波市だから交流する」といった人の流れを創出する仕組みづくりを進めてまいります。

4 「子どもを産み育てる喜びあふれる丹波市」では、

子育て世代に寄り添った支援を進めます。「子育てするなら丹波市」と選ばれるまちになるため、子どもを授かりたいと願う方々の思いに寄り添った支援をはじめ、妊娠から出産、子育て期にわたるライフステージに合った切れ目のない支援の充実、子育てに係る負担軽減など、安心して子育てできる環境整備を進めてまいります。

(施政方針要旨)

令和6年度 予算

全会計当初予算合計

628億3,490万円

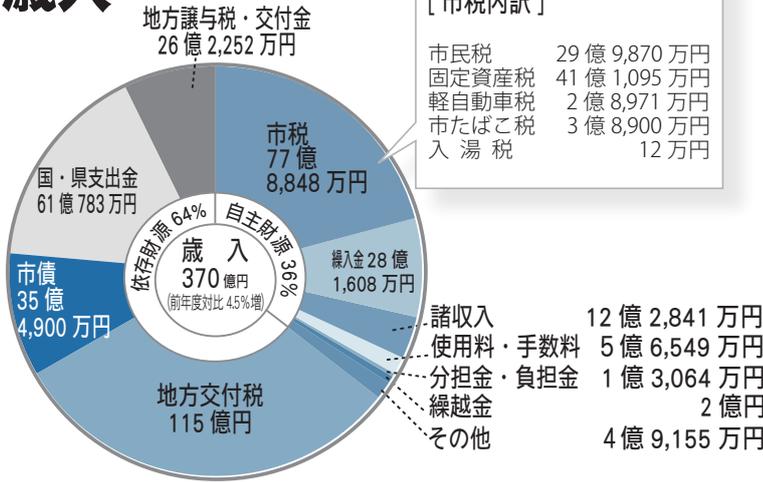
前年度対比
1.2%増

一般会計 370億円

前年度対比 4.5% 増

福祉や教育、道路整備などにかかる基本的な会計です。

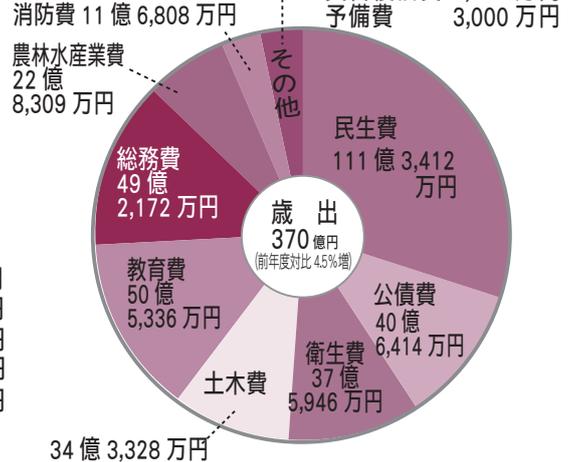
歳入



[市税内訳]

市民税	29億9,870万円
固定資産税	41億1,095万円
軽自動車税	2億8,971万円
市たばこ税	3億8,900万円
入湯税	12万円

歳出



今年度の歳入

*歳入に占める自主財源（市独自の収入）の比率は約36%で、前年度とほぼ同水準ですが、依然として地方交付税などの依存財源（国や県からの補助など）の比率が高いため、自主財源の確保に努め、財政基盤を強化する必要があります。

今年度の歳出

*土木費は、道路保全事業や辺地対策道路整備事業などの増額により、前年度対比 18.9%増加しています。
*労働費は、労働総務費などの減額により前年度対比 16.2%減少しています。

特別会計 157億7,390万円

前年度対比 3.9% 減

特定の事業を行うための会計です。

△は前年度対比減

会計名	主な使い道	予算額	増減率(%)
国民健康保険特別会計事業勘定	国民健康保険加入者を対象とした医療給付	64億1,500万円	△7.9
国民健康保険特別会計直診勘定	青垣診療所の運営	2億9,590万円	5.8
介護保険特別会計保険事業勘定	65歳以上で要介護認定を受けた対象者への介護給付	75億5,600万円	△3.8
訪問看護ステーション特別会計	在宅介護支援サービスの提供	5,110万円	24.3
地方卸売市場特別会計	卸売市場の管理	250万円	0.0
駐車場特別会計	月極・一時駐車場施設の管理	1,040万円	9.5
後期高齢者医療特別会計	75歳以上の方を対象とした医療給付	12億6,900万円	16.2
看護専門学校特別会計	丹波市立看護専門学校の運営	1億7,400万円	5.2
合計		157億7,390万円	△3.9

公営企業会計 100億6,100万円

前年度対比 2.4% 減

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計です。

△は前年度対比減

会計名	主な使い道	予算額	増減率(%)
水道事業会計	施設・設備などの維持管理・水道施設整備など	38億1,700万円	△0.1
下水道事業会計	施設・設備などの維持管理・下水道施設整備など	62億4,400万円	△3.8
合計		100億6,100万円	△2.4

令和6年度 重点施策

市政運営の柱となる4つの重点施策に基づく、主な事業を紹介します。

重点施策

1

市民が暮らしやすい

× 丹波市

大切なふるさとの環境を守る脱炭素化の推進

新規 たんばゼロカーボンアクションプロジェクト

774万円

令和4年12月に丹波市ゼロカーボンシティ宣言を表明しました。2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロ、脱炭素社会の実現に向けた取組を着実に進めていくため、身近に取り組む「丹波市ゼロカーボンアクション」の啓発を行い、省エネ化・再生可能エネルギーの利用促進の機運醸成を図ります。

丹波市ゼロカーボンアクションについては
ホームページを確認ください



ホームページ

事業内容

丹波市ゼロカーボンアクションの啓発や市民・事業者向けに「デコ活」イベントなどを随時実施します。また、地球温暖化対策講演会を開催するほか、市指定燃やすごみ袋をバイオマスプラスチック配合のごみ袋に切り替えを行います。

デコ活とは？

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動の愛称です。二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。

そのほか

新規 プラスチック製品の分別収集・再資源化(1,006万円)

拡充 環境に配慮した林業施策の推進(8,270万円)など

重点施策

2

子育て世代・現役世代が魅力的に感じる

× 丹波市

プラス
+デジタルで、快適・便利なまちの推進

継続「書かない窓口」の実現に向けた取組

3,653万円

丹波市DX推進計画に基づき、市民サービスのデジタル化を推進するため、令和7年度に「行かない、待たない、書かない窓口」の導入を予定しています。マイナンバーカードを活用した行政手続きの簡素化や、本庁舎へのキオスク端末の設置による各種証明の発行など、デジタルを活用し市民の負担軽減と業務の効率化を図ります。

事業内容

窓口の業務改革やマイナンバーカードを活用した手続きの簡素化に向けた取組を開始します。また、キオスク端末の設置(本庁舎)により各種証明の発行ができるよう整備します。

そのほか

新規 対象20業務の標準準拠システムへの移行開始(2億647万円)

新規 電子決済システムの導入(9,242万円)など

重点施策

3

帰ってこいよ・帰ってきたいと声かけ合える × 丹波市

移住・定住の促進と人とのつながりの推進

新規 サテライトオフィス等開発支援事業

5,700万円

市外からの新たな企業や人の流れをつくるため、市内にサテライトオフィスの開設・運営を希望する事業者を支援します。施設整備やプロモーション・ビジネスマッチングなどの利用促進にかかる経費の一部を補助します。

事業内容

市内に、新たにサテライトオフィスなどを開設・運営する事業者を支援するための補助金を交付します。

サテライトオフィスとは？

企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのことを言います。



そのほか

新規 お試し移住応援事業補助金 (60万円)

重点施策

4

子どもを産み育てる喜びあふれる × 丹波市

子育て世代に寄り添った子育て支援の推進

拡充 みんなで子育て親育ち活動補助金

225万円

子育て中の不安や悩みの解消、子どもの健全育成を図るため、子育て中の保護者とその子どもの仲間づくりを行うサークルに対して、活動に係る経費の一部を補助します。

事業内容

市内で活動する子育て中の保護者とその子どもの仲間づくりを行うサークルに対して、1サークルにつき年間3万円を限度に補助します。

新規 木製玩具による児童福祉施設等充実事業

977万円

幼児期の成長において、木に触れ、木の香りを感じ、木目の美しさを眺めることで五感が刺激され発達するとされていることから、認定こども園などの児童福祉施設に、市制施行20周年記念事業として木製玩具を配置します。



そのほか

新規 母子健康手帳アプリ機能の充実 (39万円)

新規 不妊治療ペア検査助成事業 (15万円) ※ 11ページに関連記事

令和6年度 主な事業

3 DX推進や企業立地による産業振興

新規 地域経済を牽引する事業者への設備投資支援 **1,500万円**

地域経済を牽引する産業4分野（ヘルスケア、農林業・地域商社、成長ものづくり、観光）に該当する事業に取り組む事業者を支援するための補助金を交付します。



その他

DXの推進「Bizステーションたんば」によるサポート（48万円）など

4 大阪・関西万博とその後を見据えた観光振興

新規 丹波市観光アンバサダーによる魅力発信 **132万円**

丹波市の魅力を広く発信する「丹波市観光アンバサダー」に俳優の新木宏典さんを任命し、丹波市の認知度向上と観光客の誘致、地域消費の促進、地域活性化を図ります。



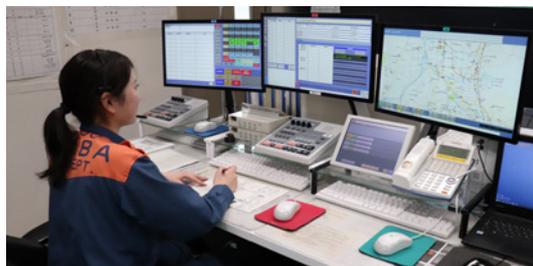
その他

大阪・関西万博誘客促進事業「This Is Tamba City 丹波の恵みを未来につなぐ～(仮称)」(1,173万円) 観光振興に向けた周遊促進（568万円）など

1 安心した暮らしを支える基盤整備

新規 高機能消防指令センターの再整備 **14億2,606万円**

平成27年4月の運用開始から8年が経過した高機能消防指令センターを、令和8年4月の運用開始に向けて再整備します。



その他

河川維持事業（1億2,515万円）
辺地対策道路整備事業（1億8,406万円）など

2 安定した地域公共交通の形成・維持

新規 路線バスの運行社会実験の実施 **625万円**

バス路線を再編するため、一定の需要が見込まれる地域において、路線の新設や既存路線の増便などの社会実験を行い、持続可能な公共交通体系の構築を進めます。



その他

モビリティ・マネジメントの実施（300万円）
JR加古川線利用促進対策の実施（493万円）など

「未来へ続く希望に満ちあふれるまちをめざして」
9つの主要施策から事業をピックアップして紹介します。

詳細は市ホームページに
掲載しています。



7 魅力ある持続可能な農業振興

新規 オリジナルブランド名による
丹波市産農産物の全国発信 **300万円**

丹波市産農産物の付加価値を高めるために、オリジナルブランド名を設定します。令和7年度に開催される大阪関西万博および全国道の駅サミットを契機に全国発信します。

そのほか
オーガニックビレッジの推進（810万円）
道の駅あおがき再整備事業（1,390万円）など

8 住民主体の活力ある地域づくり

新規 ラジコン式草刈機による地域の除草課題の解決に向けた実証実験 **901万円**

除草課題を地域で考え、補完する仕組みを構築しようとする自治協議会にラジコン式草刈機を貸与し、良好な景観形成を維持すると共に担い手不足や負担軽減などの解決に向けた実証実験を行います。



そのほか
地域伴走型支援者の配置（500万円）など

9 共に認め合う多文化共生の推進

新規 多文化共生社会の実現への取組 **224万円**

多文化共生社会を実現するため、丹波市多文化共生推進基本方針を策定するほか、外国人市民の利便性向上のために、市役所窓口にてタブレットを介した通訳を行う多言語三者通訳システムを導入します。

そのほか
日本語指導が必要な児童生徒への通訳・翻訳・授業サポートの実施（119万円）など

5 未来を担う人材を育てるふるさと教育

新規 アントレプレナーシップ教育の推進 **100万円**

次期教育振興基本計画において、市のキャリア教育の中核となる取組として、丹波市版アントレプレナーシップ教育を位置づけ、将来予測が困難な時代をたくましく生き抜く人材育成を進めます。

アントレプレナーシップ教育とは？
起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心など）と起業家的資質・能力（情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力など）を有する人材を育成することを言います。

そのほか
教育支援学生サポーターの導入（29万円）
高校魅力化支援事業（880万円）など

6 誰もが安心して暮らせる健康と福祉の充実

新規 権利擁護支援センターの開設 **632万円**

認知症や精神障がい等で判断能力が不十分な人に対する相談や成年後見制度の利用手続きの支援などを総合的に行う権利擁護支援センター（愛称「よりそい」）を開設します。



そのほか
子ども・若者サポートセンター移転整備工事（490万円）
認知症高齢者等個人賠償責任保険事業（16万円）など